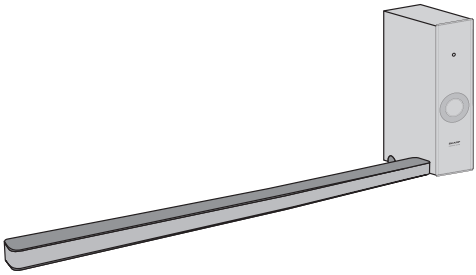
SHARP

取扱説明書

シアターバーシステム

形名 エイチティー エスエル **HT-SL50**



適応機種　　2011 年 10 月現在

本製品(HT-SL50)は、液晶カラーテレビ AQUOS を組み合わせてお使いいただくようデザインされています。
適応機種につきましては、シャープ液晶テレビの総合カタログまたは、シャープホームページをご覧ください。

安心してご使用いただくために、落下／脱落防止策の実施をお願いします。
⇒ 13、15 ページをご覧ください。

もくじ　　ページ

安全上のご注意 ..... 2 ～ 5
ご使用上の注意 6
お手入れのしかた 6
付属品 7
各部のなまえとはたらき ..... 8 ～ 9
フロントスピーカー部を設置する ..... 10 ～ 13
液晶カラーテレビ用システムラック AN-R600 に取り付ける場合 ... 14 ～ 15
サブウーハー部を設置する 16
フロントスピーカー部とサブウーハー部を接続する 17
テレビやレコーダーなどを接続する ..... 18 ～ 20
電源／音量の調整について ..... 20 ～ 21
「故障かな？」と思ったら 22
保障とアフターサービス 23
おもな仕様 ..... 裏表紙
使い方や修理のご相談など ..... 裏表紙

お買いあげいただきありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
なお、後々のためこの取扱説明書は大切に保管してください。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

・この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

警告

100ボルト以外禁止

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

・火災・感電の原因となります。

禁止

国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

確実に差し込む

電源プラグは確実に差し込む

・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

タコ足配線をしない

・火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を載せたり、この製品の下敷きにしない

・電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷ついたときは、販売店に交換をご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、製品に触れない

・感電の原因となります。

禁止

開口部（バスレフダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない

・火災・感電・けがの原因となります。特にお子様にはご注意ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂やシャワー室では使用しない

・火災・感電の原因となります。

分解禁止

キャビネットを開けたり、改造しない

・火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

水ぬれ禁止

サブウーハー部の上に花びんなど、水の入った容器を置かない

・水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

内部に水や異物などが入ったときは、電源プラグを抜く

・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

電源プラグを抜く

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

・異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

⚠注意

禁止

不安定な場所に置かない
・落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない
・露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるようなところに置かない
・調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・事故の原因となることがあります。

禁止

水滴がかかる場所に置かない
・内部に水滴が入り、漏電・焼損の原因となることがあります。

禁止

風通しの悪いところで使用しない
また、じゅうたんや布団などをかけない
・放熱孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

禁止

製品の上に乗らない
・踏み台や腰かけのかわりに使わないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
特にお子様やペットにはご注意ください。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない
・電源コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない
・火災・事故の原因となることがあります。

音量を
下げる

大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください

・そのまま使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
本機で音声を楽しむときは、音量を最小にしてから最適な音量に調整してください。電源を入れたとき、テレビの音量が大きいと突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグ
を抜く

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

・感電やけがの原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

・火災・感電の原因となることがあります。

指定のケーブル
を使用

他の機器を接続するときは、指定のケーブルをお使いください

・接続するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、他の機器の取扱説明書をよくご覧のうえ、説明に従って接続してください。
また、付属のケーブルや指定以外のケーブルを使用すると、故障の原因となります。

電源プラグ
を抜く

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続ケーブル、転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください

・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
また、落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。
- 本機は、5℃～ 35℃の場所でお使いください。
- 使用中は、内部から発生する熱により、本機背面のアンプ部が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。
- パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器や本機に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、本機との距離をできるだけ離してください。
- 本機の近くでラジオ受信機やトランシーバー、防災無線機などの無線機器を使用すると、それらの機器や本機に雑音が入ることがあります。また、誤動作することがあります。そのときは、本機との距離をできるだけ離してください。
- スピーカーの設置について
  スピーカーを設置したとき、使うテレビ（ブラウン管）によっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

  テレビ画面に色ムラがおきたら…
  いったんテレビの電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。

  それでも色ムラが残るときは…
  テレビの位置を少し変えてみてください。
  近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビ画面に色ムラが生じることがありますので、設置にご注意ください。

お知らせ

- 色ムラが消えない場合は、テレビの点検が必要な場合もあります。

お手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽くふき取ってください。化学雑布（シートタイプのウェット・ドライのものも含め）をご使用になられますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭き取り、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

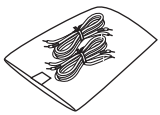
ご注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。

付属品

接続用部品

スピーカーケーブル

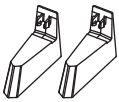


HDMI ケーブル× 1

音声ケーブル× 1

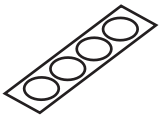
フロントスピーカー部設置用部品

フロントスピーカー用
スタンド× 2

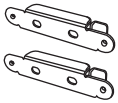


スタンド用パッド× 2

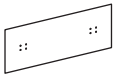
フットパッド× 4



壁掛け用取付金具× 2

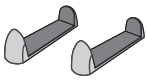


型紙
（壁掛け用取付金具取り付け時に使用）



サブウーハー部設置用部品

サブウーハー用スタンド× 2



取扱説明書※（本書）× 1
保証書　× 1

※日本語以外の取扱説明書はございません。

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談センターまで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のなまえとはたらき

フロントスピーカー部

■ 正面

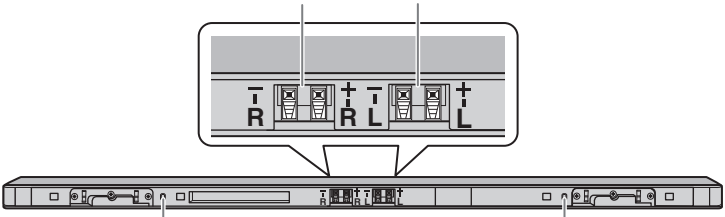
フロントスピーカー（左）
・左チャンネルの音が出ます。

フロントスピーカー（右）
・右チャンネルの音が出ます。

■ 背面

フロントスピーカー（右）端子
（黒（−）／赤（+））
・サブウーハー部と接続します。

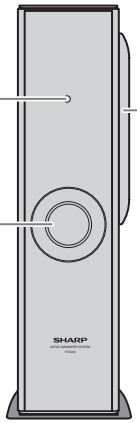
フロントスピーカー（左）端子
（黒（−）／白（+））
・サブウーハー部と接続します。



バスレフダクト
（この中に、物を入れないでください。）

サブウーハー部

■ 正面



電源表示ランプ
・青色点灯（動作状態）
・赤色点灯（待機状態）

バスレフダクト
（この中に、物を入れないでください。）

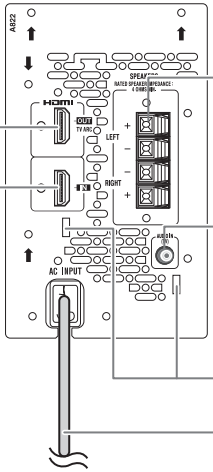
サブウーハー
・重低音を再生します。

■ 背面端子部

HDMI OUT（出力）端子
・ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビと接続します。

HDMI IN（入力）端子
・HDMI出力端子のあるレコーダーやプレーヤーなどの機器と接続します。

※ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビと接続するときは、この端子は使いません。



スピーカー端子
・フロントスピーカー部と接続します。

音声入力端子
・ARC（オーディオリターンチャンネル）非対応のテレビと接続します。

サービスマン用端子

電源コード

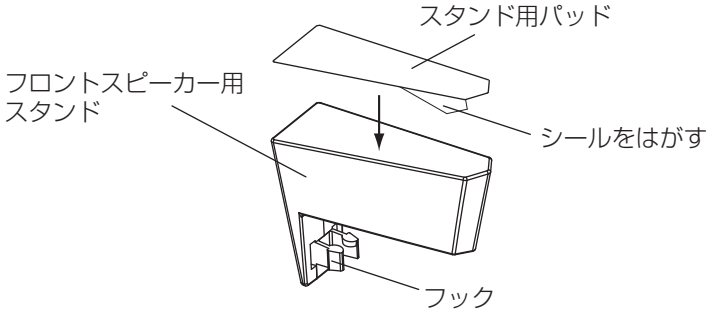
フロントスピーカー部を設置する

市販のテレビ台などに置く場合

置き場所に合わせて、付属のフロントスピーカー用スタンドまたはフットパッドを使ってください。

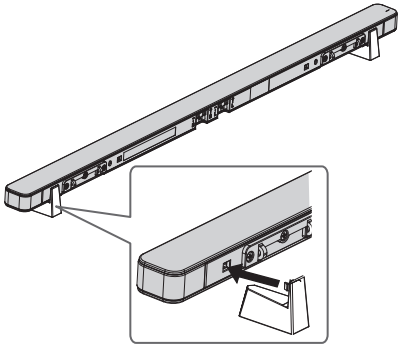
■ フロントスピーカー用スタンドを使う場合

1. スタンド用パッドをフロントスピーカー用スタンドの底面に貼る



2. フロントスピーカー用スタンドをフロントスピーカー部に取り付ける

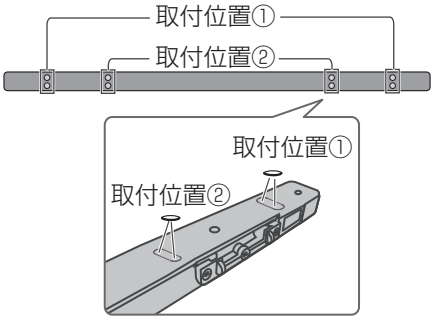
・ フロントスピーカー用スタンドの取付位置は、図の①または②から選べます。



■ フットパッドを使う場合

フットパッドをフロントスピーカー部に取り付けます。

・フットパッドの貼付位置は、図の①または②から選べます。



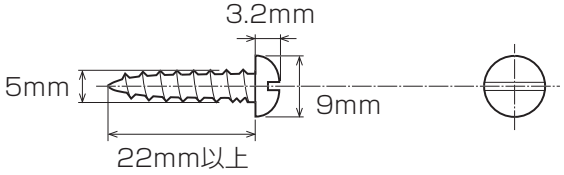
壁に取り付ける場合

⚠注意

- **取り付け時にフロントスピーカー部を落とさないようご注意ください。**
- **取り付ける前に、壁の材質や強度をお確かめください。（薄い石膏ボードや白壁の場合は、フロントスピーカー部を支えることができず落下するおそれがあります。）不明な場合は、販売店や工事店にご相談ください。**
- **ネジはしっかり取り付けてください。**
- **取り付けの不備などによる事故につきましては、当社は一切責任を負いません。**
- **お子様がフロントスピーカー部にぶらさがったりすると、フロントスピーカー部が外れてけがをするおそれがあります。**

■ 市販のネジを用意する

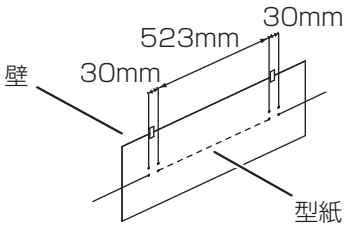
図のようなネジと、対応する壁掛け用アンカーを 4 本ずつ用意してください。



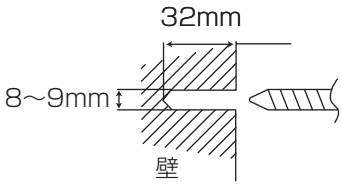
フロントスピーカー部を設置する（つづき）

■ 壁掛け用取付金具を取り付ける

1. 付属の型紙を、壁に水平に貼りつける

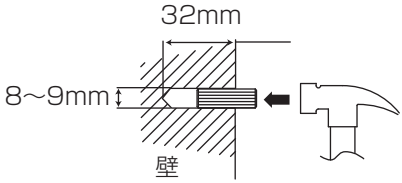


2. ドリルを使って、型紙に示された位置に穴をあける



3. かなづちを使って、市販の壁掛け用アンカーを穴に打ち込む

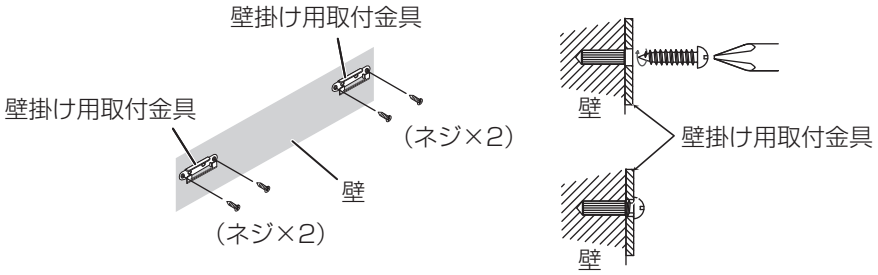
・ アンカーの表面と壁面が平らになるまで、しっかり打ち込んでください。



ご注意

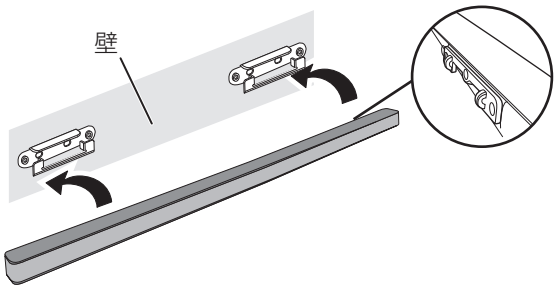
・ アンカーを穴に打ち込む際、壁や手をたたかないようにご注意ください。

4. 4本のネジを使って、壁掛け用取付金具を壁に取り付ける



■ フロントスピーカー部を取り付ける

フロントスピーカー部背面にある壁掛け用取付穴を、壁掛け用取付金具に合わせて差し込み、しっかりと固定してください。

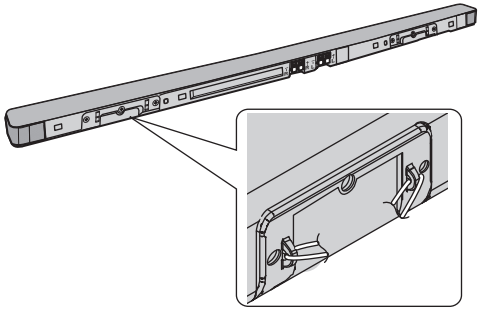


⚠注意

・取り付けた後、フロントスピーカー部に手を掛けたり小さなお子様がぶらさがったりしないようにご注意ください。フロントスピーカー部が落下し、故障したり、けがの原因となる場合があります。

■ 落下防止について

フロントスピーカー部背面にある突起に、市販の丈夫なひもなどを通して、壁掛け用取付金具とつないでください。



液晶カラーテレビ用システムラック AN-R600 に取り付ける場合

設置する前に

• テレビやレコーダーなどを設置したり、接続したりするときの作業スペースを確保のうえ、本製品を設置してください。

設置する

⚠注意

- **取り付け時にフロントスピーカー部を落とさないようご注意ください。**
- **ネジはしっかり取り付けてください。**
- **取り付けの不備などによる事故につきましては、当社は一切責任を負いません。**
- **お子様がフロントスピーカー部にぶらさがったりすると、フロントスピーカー部が外れてけがをするおそれがあります。**

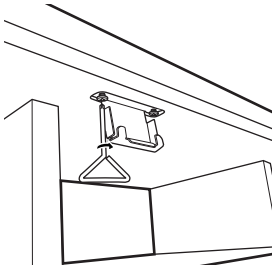
■ 必要な部品を用意する

液晶カラーテレビ用システムラック AN-R600 に付属されている、以下の部品を用意してください。

• サウンドバー取付金具× 2
• サウンドバー取付金具固定用ネジ（M5）× 4

■ サウンドバー（シアターバー）取付金具を取り付ける

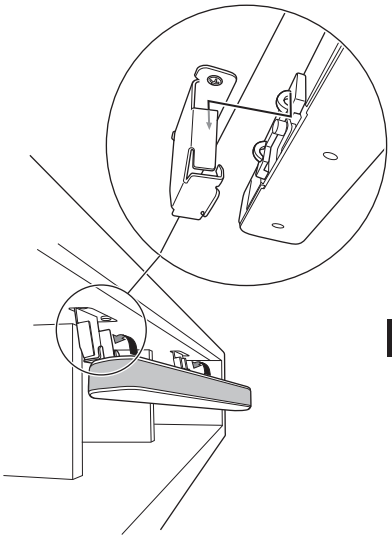
サウンドバー取付金具固定用ネジ（M5）4 本を使って、サウンドバー取付金具を液晶カラーテレビ用システムラック AN-R600 に取り付けます。



■ フロントスピーカー部を取り付ける

フロントスピーカー部背面にある取付用の溝を、サウンドバー取付金具のツメに差し込みます。

・ フロントスピーカー部背面にある突起を、サウンドバー取付金具の内側に合わせて奥まで入れてからフロントスピーカー部をまっすぐ下ろすようにすると、うまく入ります。



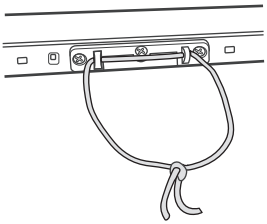
ご注意

・ フロントスピーカー部を取り付けたまま、液晶カラーテレビ用システムラック AN-R600 を移動しないでください。フロントスピーカー部が落ちて、けがや故障の原因となることがあります。

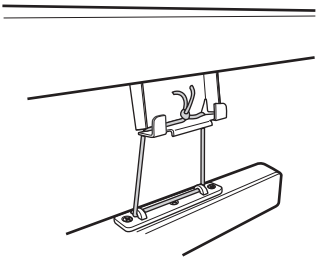
■ 脱落防止について

フロントスピーカー部とサウンドバー取付金具を、市販の丈夫なひもなどで固定することをお勧めします。脱落して床にあたり傷つくことなどを防止できます。

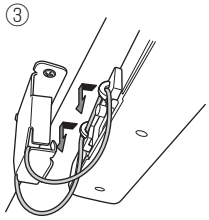
①



②



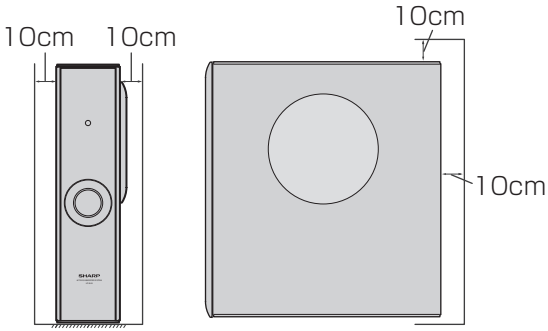
③



サブウーハー部を設置する

設置する前に

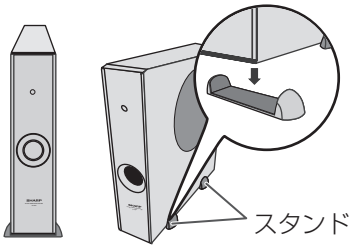
- 設置するときは、サブウーハー部の左右・天面・背面に 10cm 以上のすきまをあけてください。



- 電源を入れたまま移動したり、向きを変えたりしないでください。
- テレビやレコーダーなどを設置したり、接続したりするときの作業スペースを確保のうえ、本製品を設置してください。

設置する

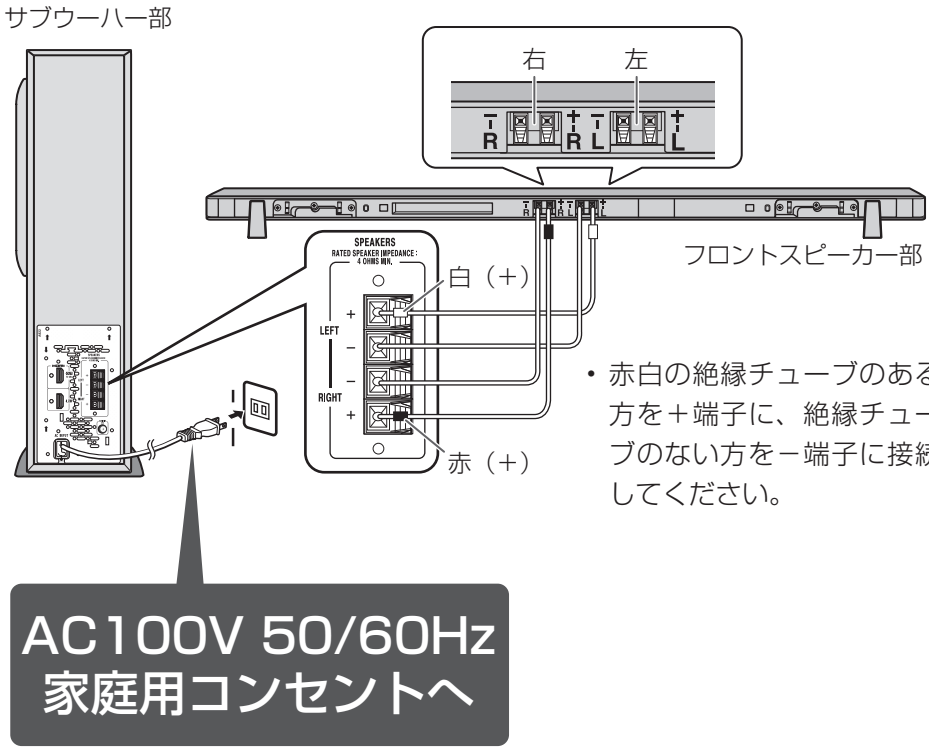
図のようにサブウーハー用スタンドを取り付けてから、お好みの場所に置いてください。



フロントスピーカー部とサブウーハー部を接続する

ご注意

- 接続するときは、電源コードを抜いてから行ってください。
- スピーカーケーブルの左右を正しく接続してください。
- **スピーカーケーブルの裸線どうしが触れないようにご注意ください。**



- 赤白の絶縁チューブのある方を＋端子に、絶縁チューブのない方を－端子に接続してください。

- 全ての接続が終了してから、電源プラグを家庭用コンセント AC100V に接続してください。

ご注意

- サブウーハー部は、家庭用電源コンセントの近くに設置し、手で電源プラグが容易に抜き差しできるようにしてください。

テレビやレコーダーなどを接続する

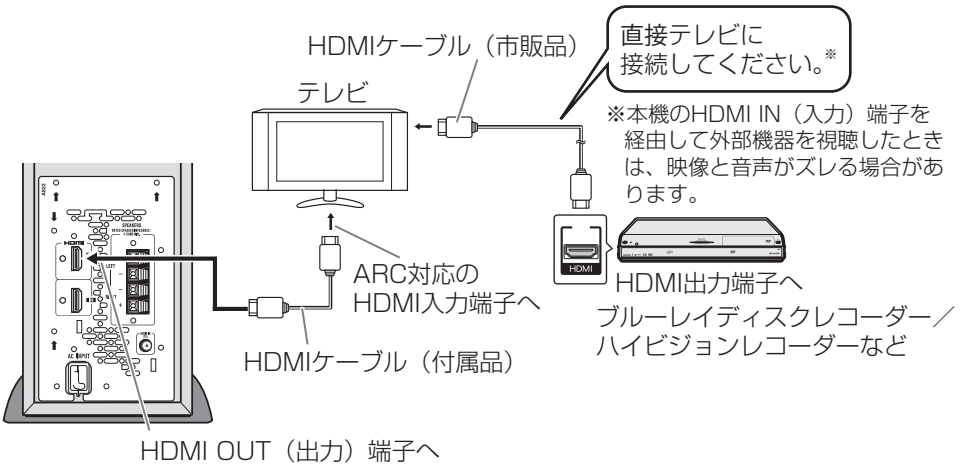
接続する前に

- **接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。**
- ご使用の機器の取扱説明書もよくご覧のうえ、接続してください。

ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビを接続する

お知らせ

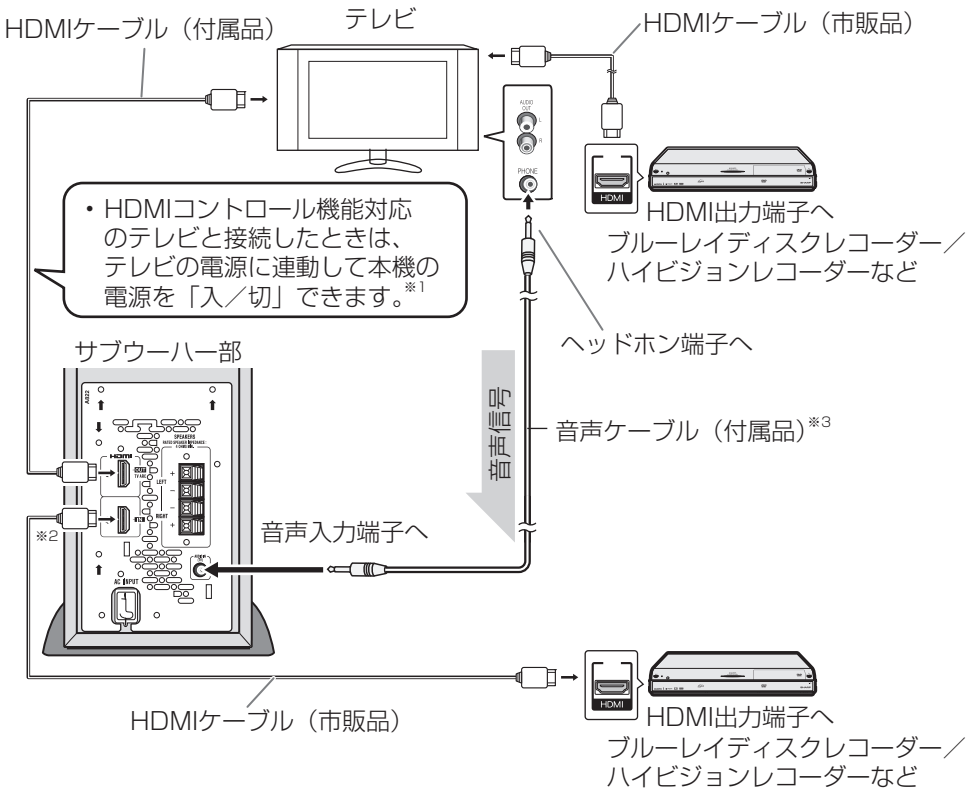
- 当社製アクオスと接続した場合、アクオス側の設定を「AQUOS オーディオで聞く」に設定すると、本機から音声が出力されます。
  「AQUOS で聞く」に設定したときは、本機から音声は出力されません。アクオスから音声が出力されます。
- 接続しているテレビの電源に連動して、本製品の電源が自動的に「入／切」します。
- **テレビのデジタル音声設定は「PCM」に設定してください。**（「ドルビーデジタル」や「DTS」に設定しないでください。）



- ARC（オーディオリターンチャンネル）対応アクオスと HDMI ケーブルで接続して音声を聞く場合は、ARC 対応の HDMI 入力端子（入力 1）と接続し、アクオスの「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「ARC 設定」を「自動」モードに設定してください。
- ぼやけた画像やノイズ画面が表示されるときは、HDMI ケーブルが確実に差し込まれているか確認してください。

電源／音量の調整について→20～21ページへ

ARC（オーディオリターンチャンネル）非対応のテレビを接続する



※ 1 HDMI コントロール機能対応テレビと接続したとき、テレビの種類によっては、テレビの電源に連動して、本機の電源が入らない場合があります。
- そのような場合は、ヘッドホン端子から出力される音声を検出しますと、本機の電源が自動で入ります。（音量が小さすぎる場合は電源が入りませんので、テレビの音量を調整してください。）
- 音声信号が検出できなくなる（テレビの電源を切る／音量を下げる）と、約 20 分後に自動的に電源が切れます。（すぐに電源を切りたいときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。）

※ 2 HDMI IN（入力）端子に接続した機器の音声を楽しむときは、あらかじめ本機の電源が入っていることを確認してからテレビの入力を切り換えてください。本機の電源が切れた状態では、映像や音声信号をテレビに送れません。

※ 3 音声ケーブルを抜き差しするときは、本機の電源が切れていることを確認してから行ってください。電源「入」のときは、電源プラグをコンセントから抜いてから音声ケーブルを抜き差ししてください。

電源／音量の調整について→20〜21ページへ

テレビやレコーダーなどを接続する（つづき）

ご注意

- 音声ケーブルは、必ずテレビのヘッドホン端子に接続してください。モニター出力端子や音声出力端子には接続しないでください。
- この方法で接続した場合、テレビの内蔵スピーカーから音は出なくなります。
- 当社製アクオスとこの方法で接続した場合は、**アクオスの設定で、必ず「AQUOS で聞く」に設定してください。**「AQUOS オーディオで聞く」に設定すると、アクオスからも本機からも音が出なくなります。
- ブルーレイディスクレコーダーなど外部機器を視聴したとき、音声と映像が多少ズレる場合があります。
- モノラルのテレビと接続したときは、フロントスピーカー部の左右両方からは音声が出ない場合があります。

HDMI ケーブルについて

- 使用する前に、保護キャップがついている場合は取り外して接続してください。
- HDMI ケーブルが 2 本以上必要なときは市販品をお買い求めください。
- 市販品の HDMI ケーブルをお使いになるときは、より安定した動作や画質劣化などの防止のため、2m 以下の HDMI ロゴ表示のあるハイスピードタイプ対応の HDMI ケーブルをお買い求めください。
- HDMI ケーブルは奥まで差し込み、引っ張らないようにしてください。コネクターが端子から抜けると、本機が正常に動作しなくなります。また、しっかり差し込まれていないときは、画像がぼやけたり雑音が生じることがあります。

電源／音量の調整について

電源について

電源コードをコンセントにつなぐと、電源表示ランプが赤色に点灯し、待機状態となります。

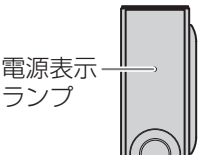
ご注意

- ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）を利用して本機の電源を入／切したり音量を調整する場合は、接続した機器の設定が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をよくご覧ください。

■以下の場合に、本機の電源が自動的に入ります。

- ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）に対応した接続機器の電源が入ったとき
- 音声信号が音声入力端子に入ったとき

電源が入ると、電源表示ランプが青色に点灯します。



1. テレビの電源を入れる

■本機で音声を楽しむために

- **ARC 対応のシャープ製テレビと接続したときは**
  テレビの「機能選択メニュー」で「AQUOS オーディオで聞く」に設定します。
- **ARC に非対応のシャープ製テレビと接続したときは**
  テレビの「機能選択メニュー」で「AQUOS で聞く」に設定します。

2. 本機の電源を入れる

- **ARC 対応、HDMI コントロール機能に対応したテレビと接続したときは**
  テレビの電源に連動して本機の電源が「入 / 切」します。
- **テレビの電源に連動して本機の電源が入らないテレビと接続したときは**
  テレビ放送など、テレビのヘッドホン端子から出力される音声を検出すると本機の電源が入ります。

ご注意

- テレビの音量が小さすぎると本機の電源が入りません。適切な音量に調整してください。
- HDMI コントロール機能に対応したテレビでも種類によってはテレビの電源に連動して本機の電源が入らない場合があります。そのようなときは「• テレビの電源に連動して本機の電源が入らないテレビと接続したときは」の操作を行ってください。

3. 本機のHDMI IN(入力)端子に接続した機器を視聴するとき

① **テレビの入力を本機の HDMI OUT（出力）端子と接続したテレビの HDMI 入力に切り換えます。**

② **接続した機器の電源を入れます。**

ご注意

- 本機の電源が切れた状態では、外部機器の映像・音声を HDMI OUT(出力）端子からテレビに出力できません。
  必ず本機の電源が入っていることを確認してから外部機器の電源を入れてください。

4. 使い終わったら本機の電源を切る

■以下の場合に、本機の電源が自動的に電源「切」(待機状態)となります。

- ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）に対応した接続機器の電源が切れたとき
- 約 20 分以上、音声信号が音声入力端子に入らないとき

お知らせ

- テレビの電源が入ってから音が出るまで、またはファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）により本機が認識されるまで、若干の遅れが生じる場合があります。
- 本機の電源を切った直後数秒間は、すぐに電源が入りません。

音量の調整について

■音量の調整は、テレビの音量(ボリューム)ボタンで操作してください。

- ファミリンク機能（または HDMI コントロール機能）に対応した接続機器からも行うことができます。

「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、「保証とアフターサービス」については **23** ページをご覧ください。

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
音声が出ない	・テレビの音量が「0」になっていませんか。 ・接続している機器がテレビ側で正しく選択されていますか。(入力切換をまちがえていませんか。) ・接続している機器の電源は入っていますか。 ・接続している機器が、本機の入力端子に正しく接続されていますか。 ・HDMIケーブルや音声ケーブル類は、接続している機器側と本機側共に端子の奥までしっかり正しく差し込まれていますか。抜けていませんか。ケーブルを正しく接続し直してください。 ・テレビのデジタル音声設定は「PCM」に設定してください。 ・ARC(オーディオリターンチャンネル)対応のシャープ製液晶テレビ「AQUOS」と本機をHDMIケーブルで接続しているときは、音声を「AQUOSオーディオで聞く」に設定してください。	— — — 18、19 — — 18
再生中にノイズが聞こえる	・パソコンや無線機器などは本機のそばで使用しないでください。	—
電源が入らない	・電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ・本機の保護回路が働いていることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。 ・テレビのヘッドホン端子と接続しているとき、テレビの音量が小さいと本機の電源が入りません。	—
音量調整ができない	・ファミリンク機能(HDMIコントロール機能)は有効になっていますか。詳しくは、本機に接続している機器の取扱説明書をご覧ください。	—

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

保障とアフターサービスよくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、このシアターバーシステムの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■ 「故障かな？」と思ったら(**22**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名:**シアターバーシステム**
- 形　　名:**HT-SL50**
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください。)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用の機器の点検を!

このような症状はありませんか?	ご使用中止
● 電源コードやプラグが異常に熱い ● コゲくさい臭いがする ● 電源コードに深いキズや変形がある ● その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

おもな仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

共通	
実用最大出力合計値	100W(非同時駆動、JEITA※)
実用最大出力	左右スピーカー　25W+25W／サブウーハー　50W (非同時駆動、JEITA※)
アンプ方式	デジタルアンプ
音声入力端子	デジタル外部入力: HDMI入力×1(映像入力兼用) アナログ外部入力: ステレオミニジャック ×1
音声出力端子	デジタル外部出力: HDMI出力×1(映像出力兼用、1080pまで対応)
電源	100V AC、50／60Hz
消費電力	25W(待機消費電力:0.8W)
フロントスピーカー部	
形式	密閉型
スピーカー	フルレンジ:2.2cm×11.5cm(4Ω)×2
最大外形寸法	801(幅)×50(奥行)×27(高さ)mm(JEITA※)
質量	約0.7kg
サブウーハー部	
形式	バスレフ型
スピーカー	ウーハー:16cm(8Ω)×1
最大外形寸法	115(幅)×307(奥行)×422(高さ)mm(JEITA※)
質量	約4.5kg

※ 実用最大出力、最大外形寸法は、JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

MY家電登録のご案内
詳しくはホームページで→

人と家電と暮らしをつなぐ、シャープの会員サイト
SHARP i CLUB
http://iclub.sharp.co.jp/m/

SHARP i CLUB は、お客様がご愛用のシャープ製品について、便利な使い方や、製品のサポート・サービス、キャンペーンなど、一人ひとりに合ったサービスをご利用いただける会員様向けサイトです。**ぜひ登録ください。**

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「故障かな?」(22ページ) をご確認ください。

パソコン　メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】
シャープ　お問い合わせ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/

お電話　使用方法,修理のご相談など
【お客様相談センター】
携帯・PHS OK **0120-001-251**

受付時間　●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜・祝日:**9:00～17:00**（年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2011.10)

シャープ株式会社
本　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia
TINSJA531WJZZ
11P10-MA-ND